

<登園可能な状態とは>

こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行を防ぐことはもちろん、子どもたちが快適に一日を生活できることが大切です。こども園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス)	症状が治まってから24時間経過後、普段の食事がとれるようになったら登園可能
手足口病	解熱し、水疱、ただれが乾いてきている 口腔内の影響がなく、食欲があり、活気もあれば登園可能
伝染性紅斑(りんご病)	活気、食欲があれば登園可能
ヘルパンギーナ	解熱し、口腔内の水疱、ただれの影響がなく、普段の食事がとれるなら登園可能
RS ウイルス感染症 ヒトメタニューモウイルス感染症	呼吸症状(ヒューヒュー、ゼイゼイという呼吸音、咳込み、痰)が改善し、活気、食欲があれば登園可能
マイコプラズマ肺炎	解熱し、激しい咳がなければ登園可能
突発性発疹	解熱し、機嫌が良く、食欲があれば登園可能
伝染性軟属腫	いぼが破れて乾燥していない場合は、ガーゼ等で保護し登園可能
伝染性膿痂疹	水ぶくれ、ただれ面が乾燥し、膿などがでていない。または、ガーゼ等で保護し登園可能